

ディスクプレーヤー(30万円以上50万円以下)

TEAC VRDS-701

¥382,800(税込)



批評家大賞



金賞



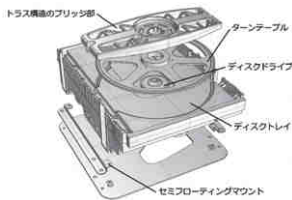
金賞

爽快な音でCDの魅力を見

ディスクをトレーにセットし再生スイッチを押すと、瞬時にローディングを完了し、演奏がはじまります。CD専用機ならではのスピーディな動作の小気味よいこと！ CDと同径のターンテーブルを持ち、面全体を回転させる、ティアック独自のCDドライブ機構が「V.R.D.S」。同社創業70周年を記念し、業務用での実績の厚い同社製ドライブをベースに、新開発のV.R.D.S技術を融合させて搭載したのが本機「VRDS-701」です。ソリッドでダイレクト、胸のすく爽快な音に業務機器の確かな血筋を感じさせます。いまやストリーミングやレコードが人気ですが、CDには非圧縮の音質のよさに加え、安定した再生互換性という強みがあります。VRDS-701はCDのすばらしさを再発見させるパワーを秘めています。(大橋伸太郎)



DETAIL



V.R.D.Sは、CDを同径のアルミニウム製ターンテーブルでクランピングすることでディスクの反りを抑えて回転を安定させ、不要振動を抑え込む、ティアック独自のディスクドライブ機構です。回転が安定することで、安定した動作と高音質化を実現するといえます。



デスクトップでオーディオを楽しみたい方にぴったりのA4サイズのCDトランスポート「PD-505T」(¥162,800/税込)もラインアップされています。業務用として長年の使用実績を誇る自社開発のCDドライブを本機用に最適化した新設計のCDドライブを搭載しています。

AVアンプ(20万円以上30万円未満)

ONKYO TX-RZ50

¥OPEN



特別大賞



企画賞



受賞

スピーカーを楽々と鳴らしきる

AVアンプ界ではデジタル部の先進的な取り組みと、アンプの音のよさで人気を博し、かつてはホームシアターの本場である北米でも高いシェアを誇った「オンキヨー」。企業としては他社との統合などもあり、一時は表に出てこない時期もありましたが、遂に本格復帰。伝統のオーディオ技術を受け継ぎ、そして発展させるエンジニアも健在で、「TX-RZ50」にその手応えを感じました。「ハイカレント・ローインピーダンス」の考えを基本に、独自のアンプ設計ノウハウにより高い瞬時電流供給能力を実現、大型スピーカーも楽々と高音質で鳴らしきるパワフルさは圧巻。最先端の補正技術「Dirac Live」による効果と併せ、生き活きとした3Dサラウンドサウンドが体感できます。(鴻池賢三)



DETAIL



独自のアンプ設計ノウハウにより高い瞬時電流供給能力を実現しているのが特長です。それゆえ瞬間的な信号の変化に素早く追従し、大出力にも対応する駆動力を備えています。また、電源ラインの低インピーダンス化を図っていることも強力な駆動力の実現に役買っています。



複数のリスニングポイントで測定することで広いエリアのスイートスポットを実現するという音場補正技術「Dirac Live」を採用しています。音の定位、明瞭さ、リスニングエリア全体の音響特性を改善するといえます。

豪華賞品が当たる！ お楽しみアンケート実施中。携帯電話／スマートフォンから、今すぐアクセス！ >>>

